

平和とよりよき生活のために

広島の せいきょう

第22号 2007年12月25日
広島県生活協同組合連合会発行

〒730-0802

広島市中区本川町二丁目6-11

第7ウエノヤビル5F

TEL 082-532-1300

FAX 082-232-8100

E-mail: kenren.h@proof.ocn.ne.jp

URL: http://kenren.jccu.coop/hiroshima/

県連創立40周年記念行事を開催しました 10/22

● ● ● 第36回 広島県生協大会 ● ● ●



10月22日(月) 10:00からメルパルク広島(広島市中区)にて、第36回広島県生協大会を開催しました。(参加者235名)

富田会長理事は、県連が創立40周年を迎えられたお礼と、今後会員生協の力を結集して、平和で住みよい地域社会づくりのために新たな決意でぞむと挨拶しました。来賓に、藤田広島県知事、秋葉広島市長、そして日本生協連品川専務を迎えて、ご挨拶いただきました。藤田知事からは、広島県の消費者行政及び地域社会の福祉向上に多大な貢献があったこと、さらに今後も「元気な広島県」づくりに協力をと述べられ、秋葉市長からは、平和市長会議の2020ビジョンへの取り組みについて今後も一緒に取り組みましようと呼びかけられました。



記念講演
竹本成徳 会長



挨拶する富田会長理事



藤田雄山 広島県知事



秋葉忠利 広島市長

会員生協、県連の専門委員会からの活動報告の後、(財)日本ユニセフ協会兵庫県支部の竹本会長に、ご講演いただきました。「戦争の罪を問う時代ではない、そこから学ぶべき責任を問う時代」であり、さらに「平和はあるものではなくつくり続けるもの」であると自らの被爆体験と生協や、ユニセフでの活動を通じて、これまで平和の課題に取り組まれてきたことを力強く語られました。最後にユニセフのスタディツアーで行かれたタンザニアのこどもたちの写真を前に、こどもたちがいつまでもこの目の輝きを失わないように、平和の活動に取り組まなければならないとお話しされ、講演を終わりました。参加者からは会長の被爆体験に涙し、気迫ある講演に感動したと声が寄せられました。

活動報告



日立造船因島生協
家庭会議長(県連理事)
砂月容子さん

因島大橋を歩いて
募金を訴えた「ユ
ニセフ・ラブウォ
ーク」の紹介



福山医療生協城北支部
支部長
植村敦子さん

どんどん広場での
100円食会や配
食弁当づくりなど、活
発な城北支部の活動
を報告



県連・食の安全委員会副代表
福山医療生協管理栄養士
宮澤千明さん

食生活アンケート調査
結果をもとに、食生活
の実態と、健康を維持
するためのポイントを
紹介

創立40周年記念祝賀会

生協大会終了後、広島県生協連40周年を記念して、日ごろからお世話になっている行政、友誼団体、日本生協連、他の県連など136名のみなさんの参加をいただき創立40周年記念祝賀会を開催しました。

富田会長理事からは、広島県の生協の起こりはすでに100年あまり前からあり、戦後すぐ設立された県連は生協の経営難から解散に追い込まれ、今日の県連は再建したものでそれから40年経過したこと、食品の安全の問題などその時代の課題に応じて活動に取り組んでいたこと、平和などの多くの社会的課題に取り組んでおり、今後も90万人の組合員とともに社会的課題に取り組んでいくと挨拶しました。

その後、藤田雄山広島県知事、林正夫広島県議会議長、児玉更太郎安芸高田市市長のご挨拶をいただき、JAひろしま中央会の村上会長による乾杯のご発声で各テーブルでは和やかに歓談がすすみました。因島から水軍姫太鼓のグループに来ていただき、迫力ある太鼓の演奏を披露していただきました。その後、被爆者団体の方や(財)日本ユニセフ協会広島県支部の方などからご挨拶をいただき、無事祝賀会を終了いたしました。



挨拶する富田会長理事



ご挨拶される
林正夫広島県議会議長



ご挨拶される
児玉更太郎安芸高田市市長



当日の会場の様子



演奏を披露された水軍姫太鼓のみなさん

県連の活動

◆2020ビジョンキャンペーンの取り組み

10月22日、生協大会終了後、2020年までに全ての核兵器を解体するという「2020ビジョンキャンペーン」に賛同して、「都市を攻撃目標にするな(Cities Are Not Targets)プロジェクト」核兵器の攻撃目標の解除と核兵器廃絶を求める要請書の街頭署名に取り組みました。また、同時に全米での原爆展意見広告掲載を支援する募金にも取り組みました。平和市長会議の事務局から4名、組合員30名で実施し、署名は151筆、募金は12,741円集まりました。(財)広島平和文化センターが全米での原爆展開催のために募金を呼びかけてから、はじめての街頭募金で、当日はマスコミの関心も高く、取材を多く受けました。

また11月13日におかやまコープ15,554筆、と生協ひろしま17,993筆、さらに12月12日にはコープかながわが48,426筆のCANT署名を広島市長に届けました。CANT署名は平和市長会議に110,393筆(12/12現在)が届き、今後国連の場に提出されます。



◆県連福祉事業推進協議会で広島県と懇談

介護保険制度の現状について、広島県介護保険指導室、被爆者・毒ガス障害者対策室の責任者及び担当者とはじめて懇談を持ちました。地域包括センター、被爆者の介護手当の現状について、意見を交換しました。時間も短くはじめてです。詳細な話はできませんでしたが、広島県からは介護保険は市町が窓口で、直接現状を聞く機会がないとお話もあり、協議会としては今後も引き続き、懇談の場を設けることが確認されました。

住まいのセミナー&山のセミナー2007

【主催:木の香る住宅工房・広島県生協連】

○住まいのセミナー ▶ ①6/9 ②7/14 ③8/25 ④9/8(全て土曜日) 60人参加

○山のセミナー ▶ “秋の伐採見学” 11/18(土) 34人参加(スタッフ含む)

“安全・安心な住まいづくり”と“環境保全”を一緒に考える「住まいのセミナー」は今年で9回目を迎えました。講師は、木の香る住宅工房の建築家などメンバーがつとめ、今年は特に「安心して暮らせる住まい」をテーマに、「地震に強い住まい」、「長持ちする住まい」、「健康な住まい」、「きれいなたたずまいの住まい」について4回のシリーズで実施しました。今回は上記のテーマのほかに建築家が外国に訪問した際に撮影してきた建築物の紹介や木のパネル(ラティス)でつくった茶室で抹茶をいただくなど、参加者には講演はもちろんですが、楽しい時間の演出で大変好評いただきました。



住まいのセミナー
「茶室でお茶してます」



「山のセミナー」
下草刈りと植林にみんな一生懸命です。

また、山のセミナーでは樹齢70年の杉の木の伐採を見学したほか、「木の香る住宅工房の森」でひのきと芝栗の植林、下草刈りを行いました。参加者から、木の大切さ、山の自然の良さを実感でき、本当によかったとの声をいただきました。

***木の香る 住宅工房** …… 木の特性を活かし、“丈夫で長持ち”“住まい手の健康を考えた”“適正な価格”+“街並みや環境に配慮”した家を、作り手と住まい手の顔の見える関係でつくることをめざす、林業家から工務店までの専門家ネットワークです。

<http://www.enjoy.ne.jp/gendai/KKJK-top.html>

消費者のつどい2007

参加180名【主催:広島県・広島県消費者団体連絡協議会】

消費者団体の活動交流と啓発を目的に毎年実施されている「消費者のつどい2007」が、11月20日(火)広島市の鯉城会館で開催されました。

一部は、「外食産業における原産地表示調査報告」(広島県消団連)、寸劇「レジ袋はいりません」(呉市消費者協議会)の2つの消費者団体の活動発表に加えて、消費者ネット広島からの報告がありました。



熱演で、会場をわかせた
呉市消費者協議会のみなさん



二部は、立命館大学平和国際ミュージアム館長の安齋育郎氏に「だます心 だまされる心」と題してご講演いただきました。霊・超能力・占いや血液型診断などには必ず裏(=トリック)がある、だから騙されないように…と、手品を交えながら面白くお話しいただきました。あの手この手で日々進化・多様化していく消費者問題に屈しない消費者になっていくうえで、示唆に富んだ講演でした。

「つくってみようよ!自分の朝ごはん」

広島県と(財)ひろしまこども夢財団共催で行った「つくってみようよ!自分の朝ごはん」に昨年に引き続き県生協連が審査員として参加しました。10月28日(日)の広島フードフェスティバル会場にて、優秀賞に選ばれた尾道市の石原君(小1)に賞状とトロフィー、副賞(生協商品の詰め合わせ)を贈呈しました。

広島県協同組合学校'07

【主催:広島県協同組合連絡協議会(HJC)】

「自然のめぐみと、人と人とのつながりが豊かな地域社会を築く」をスローガンに地域における協同組合の存在価値についての問題提起、各協同組合地域づくりの実践報告や直売市の取り組みなど多岐にわたって報告を受け、議論してきました。

※HJC:Hiroshima-ken Joint committee of Co-operative

HJCとは、広島県協同組合連絡協議会のこと。JA・生協・漁協・森林組合など協同組合が組織的に提携を図り、自然と調和した人に優しい地域社会づくりに貢献することをめざしています。



会員生協しポーターからの報告



広島県住宅生協の社会的貢献事業

【2007年6月 県連加入】

文化教室のご案内

広島県住宅生協では所有するビルにおいて、右のような文化教室を開講し、地域のみなさんや近隣で働くみなさんに喜ばれています。

<各会場所在地>

- 並木ヒルズ6階「夢庵」
広島市中区袋町9-3
- ルミナス並木通り3階
広島市中区袋町9-4

<お問い合わせ>

各会場にお問い合わせください。

※空き教室については下記にお電話ください。

【事務局】日之賣 藍(ひのめ あい)
広島市中区袋町9-3
TEL・FAX 082-542-6065

場 所	教室名	指導者・連絡先	開催日・時間
並木ヒルズ6階 「夢庵」	香 道	日之賣 藍(ひのめ あい) 082-542-6065	毎週火・金・土曜日 11:00~20:00
	シャンソン	日高 摩梨 0826-52-3692	毎週火・木・金・土曜日 (10回) 9:00~22:00
	デコ・クレイ・クラフト	古澤 藍 090-2002-1187 ai-furusawa@salon-de-ve.jp	第2・4日・土曜日 13:00~17:00
	篠 笛	石原 千穂子 090-4895-5231	第2・4月曜日 13:00~20:00
	ギター	長野 文憲 082-227-0712 guitar@bunken-nagano.com	第1・3・5日曜日 9:00~22:00
	着付け	今中 統子 090-7124-7226	第1・3月曜日 10:00~17:00
	古布を使った パッチワーク	横山 良子 0824-23-2008	第3・4金曜日 13:00~17:00
	ちりめん細工	横山 良子 0824-23-2008	第1木曜日 13:00~17:00

ルミナス並木通り3階

引越しました。県連の事務所

【新住所:広島市中区本川町二丁目6-11第7ウエノヤビル5F】



ゆっくり落ち着ける会議室です

事務所の入口から撮影



これまで県連は、長らく上八丁堀の林業ビルに事務所を構えていましたが、この9月に本川町の第7ウエノヤビルに引っ越しました。紙屋町から相生橋を渡って電車通り北側の3軒目のビルの5Fです。

事務所からは平和公園、原爆ドームを望め、今までの事務所より明るくなりました。事務所と会議室の間仕切りは杉の間伐材を利用したラティスでつくりましたので、事務所に入ると木の香りがします。調湿効果もあり、木の温もりを感じる人に優しい事務所です。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

これからの行事

県連の2007年度の主な行事予定です。

行事名及びテーマ	日 時	会 場	対 象
新春学習交流会	2008年1月9日(水) 10:00~13:30	メルパルクHIROSHIMA	組合員リーダー、役職員
岸田国民生活担当大臣に聞く 「消費者団体訴訟制度の活用と 今後の消費者行政の行方」 【消費者ネット共催】	2008年2月2日(土) 11:00~12:10	林業ビル8F 大会議室	会員生協の役職員・組合員のリーダー、適格消費者団体をめざす消費者団体のグループ等
大規模災害対策学習会	2008年2月20日(水) 13:15~15:00	広島県立体育館 小会議室	会員生協の専務(役員)及び災害対策担当者、広島県担当
福祉学習交流会	2008年2月23日(土) 13:30~16:30	広島県健康福祉センター 中会議室	ヘルパー、サービス提供責任者、ケアマネジャーなど、地域の高齢者を在宅のくらしを支える人たち